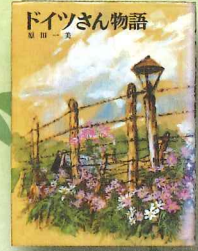




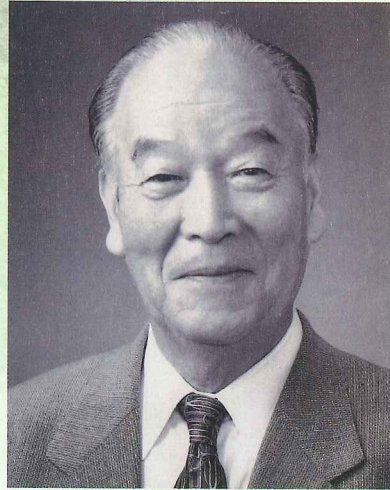
ふりやかまじ・絵 P H P 研究所



松井行正、佐藤廣喜・絵  
学習研究社



武部本一郎・絵 偕成社



# 原田一美

— 子供たちへの伝言 —

開館20周年記念文学特別展



樹田秀、鎌田邦宏・絵  
教育出版センター



金成泰三・絵 国土社



福田庄助・絵 文研出版



金成泰三・絵 国土社

## 2022年8月11日(木・祝)～9月25日(日)

【開館時間】 9：30～17：00

【休館日】 月曜日(祝日の場合はその翌日、8月15日は開館)

【会場】 1階特別展示室・3階収蔵展示室

【観覧料】 一般 520円(410円)  
高校・大学生 360円(290円)  
小・中学生 260円(200円)

※( )内は20人以上の団体割引料金。  
高齢者(65歳以上と各障がい者手帳をお持ちの方は半額)。  
小・中・高校生は、土・日・祝日と夏休み期間中は無料。

### 関連イベント

講演会 「原田一美 人と作品—平和の種を未来へ—」

8月20日(土) 14：00～15：30 \*申込必要(先着100人)  
講師/竹内紘子(児童文学作家、日本児童文学者協会徳島支部長)

演奏会 「原田一美作品を奏でる」

8月28日(日) 14：00～15：00 \*申込必要(先着100人)  
演奏/徳島邦楽集団  
解説/藤本玲(和軸代表理事、全国邦楽合奏協会理事長)

【主催】 徳島県立文学書道館 【後援】 徳島新聞社・四国放送・NHK 徳島放送局



命の尊さを子供たちに伝え続けた徳島県

吉野川市山川町生まれの児童文学作家、

原田一美（1926-2016年）。小学

校の教え子たちとのホタル研究を題材にし

た『ホタルの歌』（第1回学研児童ノンフィ

クション文学賞準入選）を皮切りに、第1

回石森延男児童文学奨励賞を受賞した『出

会いがあつて』（「がんばればパンダツ子」改

題）など20編余の児童文学作品を発表し

ました。十六地蔵や板東俘虜収容所、祖

谷のかずら橋など徳島ゆかりの素材にこだ

わり、その風土とそこに暮らす人々を描き

続けた一美。作品には、人間に対する深い

愛情と平和への強い思いが込められていま

す。

本展では、温かいまなざしで人々の心を

とらえた一美の作品と生涯を、直筆原稿

や取材ノート、折々の

写真などとともにご紹介

します。

また、神山町の神領

小学校に伝わる青い目

の人形アリスちゃんや

モラエスの遺品の皿な

ど作品に登場する物品

も併せて展示します。



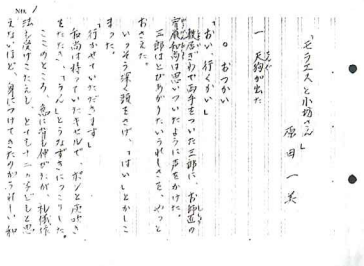
『嵐の中に咲いた花』に登場する青い目の人形アリスちゃん（神山町有形文化財、神領小学校蔵）



吉野川市立中枝小学校の教え子と取り組んだホタルの研究ファイル



吉野川市・美郷に完成した「ホタルの歌」のモニュメント前で（2008年）



『モラエスと小坊さん』の原稿（複写）



『鳥雲物語』取材ノート



『大統領のメダル』に登場する美波町志和岐の漁師たちに米大統領から贈られた感謝のメダル（複製、由岐ふれあいホール資料展示室蔵）



**<講演会・演奏会の申込方法>**  
 はがき・FAX・メールのいずれかにイベント名、郵便番号、住所、氏名（ふりがな）、年齢、電話番号をご記入のうえ、お申し込みください。当館1階受付でも申し込めます。

- 交通アクセス（JR徳島駅から）
- 徒歩 約15分  
 JR徳島駅西側のポッポ街を抜けて右折。踏切と助任川を越え、3つ目の信号を右折して約300m。徳島中学校東隣。
  - バス  
 [徳島市営バス] 7番乗り場「川内循環線（右回り）」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。  
 [徳島バス] 15番乗り場「前川経由」に乗車。「吉野本町2丁目」で下車し、徒歩約5分。
  - タクシー・自動車 約5分  
 国道192号線、藍場町交差点を北進。助任川を越え、4つ目の信号を右折して約300m。
  - 駐車場  
 当館北側にあります（43台、大型バス2台）。